



参加
無料

幼児の社会性発達のための 自然な発達の行動介入 (NDBIs) に関する研修会



日時 2026年

6月20日(土)・21日(日)

両日とも 10:00～16:00 (開場 9:30)

開催方式 対面 (web 開催はございません)

申込方法 下記の URL または右記 QR コードより
お申込みください。

<https://x.gd/LCHbv>

要申込 期限：6月14日(日)締切

※定員になり次第、申込を締め切ります。



会場 長崎大学医学部記念講堂ほか

住所：長崎市坂本1丁目12-4

※駐車場はございません。公共交通機関等
または近隣の有料駐車場をご利用ください。

6/20
土

講義名 幼児への自然な発達の行動介入 (NDBIs)

対象 保育園・認定こども園、幼稚園の先生方
発達支援に関わる方

定員 400名 / 要申込・参加無料

6/21
日

講義名 JASPER のコンセプトに基づいたアセスメントと支援の実際

対象 医師、心理職、リハビリテーション職、
児童発達支援事業所職員等の支援者

定員 100名 / 要申込・参加無料

※6/21(日)の研修会に参加される方は、前日の6/20(土)の研修会にもご参加いただく必要がございます。
両日の申込をお願いいたします。

※講義内容は裏面をご参照ください。



〈講師〉 黒田美保先生

田園調布大学人間科学部 心理学科 教授 / LIBO 自由が丘こころの発達研究所 /
公認心理師 / 臨床心理士 / 臨床発達心理士 / 当センター e ラーニング講師

黒田先生は、日本を代表する発達障害児者支援の第一人者です。豊富な研究実績と実践経験を積み、これまで自閉スペクトラム症を中心に、早期発達支援や社会性の発達、心理アセスメント、介入方法の開発・効果検証に取り組んでこられました。特に、近年 JASPER や ESDM 等の遊びを基盤とした自然な発達の行動介入 (NDBIs) の実践や研究に精力的に取り組んでおられます。



幼児への自然な発達の行動介入に関する研修会

近年、国の施策により全国的に5歳児健診の導入が進められております。長崎県においても各自治体で5歳児健診の導入が進められています。発達障害のリスクを指摘される子どもは増えていますが、その後のフォローアップ体制は十分に整っていないのが現状です。子どもの心の医療・教育センターでは、発達障害のリスクのある子どもたちを地域でサポートしていくコミュニティベースの体制づくりを推進するため、その一貫として、本研修会を企画しました。皆様のご参加をお待ちしております。

センター長 岩永 竜一郎



6/20 (土)

10:00~16:00

幼児への自然な発達の行動介入 (NDBIs)

内容

1日目は、子どもにとって自然な日常場面である遊びやおやつの時間の中で行われる発達の行動介入 (NDBIs) の基本的な考え方について解説します。発達理論と応用行動分析を基盤としながら、幼児期の社会的コミュニケーションや遊びをどのように支援していくのかについて、主要な NDBIs に共通する原理や実践のポイントを中心にお話しします。

対象

保育園・認定こども園、幼稚園の先生方、発達支援に関わる方

定員

400名 / 要申込・参加無料

6/21 (日)

10:00~16:00

JASPER のコンセプトに基づいたアセスメントと支援の実際

内容

2日目は、NDBIs の一つである JASPER (Joint Attention, Symbolic Play, Engagement, and Regulation) について、より詳しくお話しします。JASPER は、主に自閉スペクトラム症 (ASD) 児を対象とした、効果が期待される介入方法です。本研修では、JASPER の理論的背景を踏まえ、アセスメントの視点と、それに基づく具体的な支援の進め方を取り上げます。共同注意、象徴遊び、関わり、情動調整といった観点から、子どもの発達をどのように評価し、日常的な支援につなげていくかについて、アセスメントの実習や支援に関するディスカッションなど、アクティブラーニングを取り入れた内容で進めていきます。

対象

医師、心理職、リハビリテーション職、児童発達支援事業所職員等の支援者

定員

100名 / 要申込・参加無料

黒田美保先生監訳

※6/21(日)の研修会に参加される方は、前日の6/20(土)の研修会にもご参加いただく必要がございます。両日の申込をお願いいたします。

NDBIs とは？

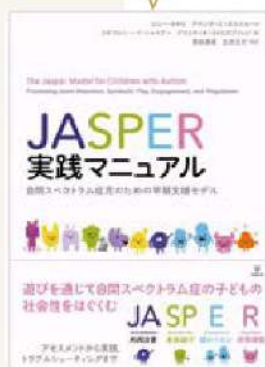
NDBIs (Naturalistic Developmental Behavioral Interventions) は、発達科学と応用行動分析 (ABA) の理論に基づいた、主に幼児期の子どもを対象とする支援アプローチです。

子どもの興味や自発性を大切にしながら、日常生活や遊びの中でことばやコミュニケーション、社会性などの発達を促します。エビデンスに基づいた支援方法であり、家庭や保育・療育の現場での実践が期待できます。

ご飲食についてのご案内

会場内での飲食はご遠慮いただいております。

ご飲食の際は、飲食専用スペースとして「第1講義室」「第2講義室」をご利用ください。



金剛出版

お問い合わせ

長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

✉ kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp

🌐 <https://www.cme.nagasaki-u.ac.jp>